国分寺市議会議員　ニュースレター
みなが皆川りうこ
2005年 新春号　発行：皆川りうこの会 "Let's" 国分寺市東恋ヶ窪6-7-31

自治体改革へ前進
～一人一人の意識改革の年に・組織・職員の危機管理意識～

2000年の地方分権一括法の制定により、機関委任事務が廃止され地方が国の出先機関として仕事をしてきた時代は終焉し、地域に沿った独自の政策を立案する時代となりました。そこで、分権社会に伴う新たな政策や制度の整備は言うまでもありません。また、旧態依然とした行政組織の体質からの脱却と意識改革なくして自治体改革はありえません。

開発優先が市民不在を招いた！

9月議会で問題となった、(仮)市民文化会館建設予定地である西国分寺再開発事業用地内の土壌汚染の情報隠蔽問題(前号、号外にて報告)については、施行者の都市再生機構より「事業の完了年月や補助金の申請の問題があり事を急いだ」と10月の市民説明会の席上でなされています。

このように開発優先で辻褄をあわせながら進めた結果、土地履歴の不備・遺跡調査会が産業廃棄物業者として交わした契約の違法性の問題について議会で指摘され、手続きのやり直しがされました。

再度の手続きの作業は、人・時間ともに市民の税金が二重に使われたことになります。この点からしても、都市再生機構はいうまでもなく事業主体である市の責任は重大です。開発優先思考で、市民不在の古い行政の体質がこのような顛末を招いたといえます。

当事者意識と意識改革

市長は12月議会で、これら一連の問題の責任をとって自らの給料を減額するという処分を下しました。しかし「それで問題が解決」、ということではないと考えます。今回の件は、組織や職員の当事者意識の問題であり、法令遵守(コンプライアンス)からもかけ離れ、危機管理意識の欠如といえ関わった職員の責任も問われる問題です。「よその部署の出来事」とするのではなく、一人一人が真摯にこの問題を受け止め誰のための仕事をしているのか、もう一度原点に立ち戻り自覚をする必要があります。

すでに汚染土壌(産業廃棄物)の処理はなされましたが、1年近くに亘り情報が知らされていない市民に対しては、ことの経緯やここに至るまでの原因や責任の所在等、すべて明らかにすべきです。

年頭にあたり

昨年末は、新潟中越地震、スマトラ沖で起きた災害、津波と立て続けに災害に見舞われました。多くの犠牲となった方のご冥福と被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

発想の転換で、政策の大胆な見直しを

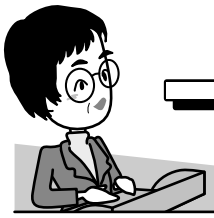
分権社会を築くためには、これまでの実態に合わない補助金のシステムではなく市独自の政策を作り出し、財政・政策ともに自立した自治体づくりが求められます。

税財政面から地方分権改革を目指す三位一体が進められていますが、市としても税金の無駄がないか政策や施策を厳しく見直すとともに、「官」主導から「民」へとさらに進める事も必要です。

日本はかつてないスピードで少子高齢化が進み、2006年をピークに人口減少時代に入るといわれています。懸案となっている社会保障の問題などこれまでの社会構造も大きく変わる時代へ突入することは避けられず、これまでの政策を大胆に見直すなど発想の転換は必須となります。今年も少子高齢社会における地域福祉・自治体改革に向けた政策提案に取り組みます。

国分寺市議会議員　皆川りうこ

（討議資料）



一般質問より

地方分権型の自治体に転換するための、組織改革・職員の意識改革などを促すための制度は重要です。そこで内部改革を求める視点で質問しました。

国分寺駅北口、西国分寺東地区、両再開発事業の行方は

質問

９月の土壌汚染問題以来、西国分寺東地区再開発事業地内に建設予定している（仮）市民文化会館問題は頓挫している。この際、まちづくりの視点で公益施設のあり方も含めて考え、特定建築者制度の問題など、原点に戻り、地に足をつけた議論をすべきではないか。
国分寺口駅再開発については最近とみに、中型スーパーなどの廃業店舗が目立っている。このまま放置しておくと、第三者に権利が譲渡され、遊戯系店舗（パチンコ屋）になる可能性もある。西国分寺再開発事業より優先して取り組むべきではないか。市長の見解はいかがか？

市長の答弁

西国分寺の市民文化会館についてゼロベースでの議論は不可能。再開発事業は財政問題が密接である。新たな都市再生のまちづくり交付金活用の研究をする中で、慎重に検討する。

昨年の一般質問では、国分寺再開発事業については、特定業務代行方式にこだわらず抜本的見直しをしてはいかがかと質問した際、市長は「権利者の方とも協議しながら進めてきたので他の手法は考えていない」と答弁しました。しかし今回は、他の手法も含めて様々な視点から検討するという考えが明らかになりました。

!!!

◆再開発事業には巨額な財政が投入されることから、少なくとも今の市財政では両再開発事業の成立は困難といえます。
一方、国分寺北口再開発事業では、約180人の権利者の生活再建問題、30年も経過した事業の停滞と問題が長期化しています。事業の成立により経済損失を取り戻す事も急がれますが、市長からは優先性については明確にされず、両開発事業とも中途半端になりはしないかと危惧するものです。

枠配当予算について

質問

来年度の予算編成方針では、昨年の一般質問で提案した部ごとの枠配当予算に取り込む事が明記されている。予算編成にどのように反映させるのか？

政策部長の答弁

権限や、責任が明確になる制度である。意識改革が前提でありそれを踏まえて対応したい。

!!!

◆枠配当予算
市長の政策の優先順位を明確化・歳入を意識した仕事になり・部ごとの目標，個人の目標につなげるためにも有効といわれ多くの自治体で採用されています。予算は「間違いなく執行する」のではなく「目標をいかに達成するか」が重要です。

Plan Do Check Action
[計画・実行・評価・改善]の視点で税金の使い方をチェックする！

年賀状に書き添えられている一言。その年の世相と自分の年代が抱えている問題も浮き彫りになります。ちなみに今年は「冬ソナ」「親の介護」「子どもの進学、就職」「平和への願い」などなど。一年に一度の貴重なお便りです。

職員・組織の法令遵守（コンプライアンス）

土壌汚染隠蔽問題については関わった職員の責任（懲戒処分等）も問われます。その点で市の見解は、「職員倫理の問題でもあり条例化も含めて、庁内で検討している。」

内部通報制度も視野に入れているとの事でしたが、監視社会になる心配も出てきます。先ずは組織として「報告・連絡・相談」の基本を守り、良好な職場環境作りが第一であると指摘しました。

施設の有効活用を積極的に！

ホームヘルパーの専門性を高めるための、スキルアップ講習や研修が重要になっています。（利用者の立場に立った介護のあり方や高齢者のための調理実習等の研修）

国分寺市発行の「にこにこガイドブック」に紹介されている訪問介護事業者の研修の実態調査したところ、自主的に行っている事業者もある一方、研修の重要性が理解不足により実施していないところもありました。

質問 今後、市は研修への理解を求める努力とともに、自主研修へのバックアップ体制も必要だ。そこで先ずは場所の提供として、市の施設である「いずみプラザ内の介護実習室や調理実習室で研修できるよう貸し出してはいかがか。」

福祉保健部長の答弁

貸し出しについては不可能ではない。条例改正など必要となるが検討してみたい。

質問 また同施設内の、保健センター内にある歯科の診療台を老人保健施設に入所している人の口腔ケアのために活用できないか。

福祉保健部長の答弁

衛生面での問題や法律面での問題がある。医師会など関連部署との調整が必要。

都市型社会の危機管理

質問 市の地域防災地区計画見直しの際には、「市民の生命・身体・自由・財産の保護」を守る立場から、現代危機に関する検討も進め、鳥取県の危機管理の指針も参考に作成してはいかがか。

市長の答弁

大きなテーマである。総合的に体系化する必要がある。

昨年の国民保護法成立を受けて、都道府県では平成17年、市では平成18年に条例制定など求められてきます。分権社会においては、国の動きを待つのではなく、市としての積極的な取り組みや対応が望まれます。

!!!

◆危機の類型

①伝統的危機‥犯罪・火事・怪我・遭難・殺人・自然災害（地震、台風、洪水等）

②現代危機‥感染症・有害食品・薬害・公害・都市災害（交通事故、サイバーテロ、原発、産業災害、）経済危機・軍事危機・地球環境問題、さらには自治体や民間など個人情報漏えいの問題、自治体内の不祥事隠蔽など信用失墜など市民へ多大な損害を与える事等。

＊ 国分寺市いずみプラザ ＊

1階
・高齢者相談室
・高齢者在宅サービスセンター「ふれあい」

2階
・いずみ保健センター
・国分寺医師会館
・医師会公衆衛生センター

3階
・健康推進課
・（財）国分寺市健康福祉サービス協会

4階
・介護老人保健施設「すこやか」

まちの声・こえ・VOICE 拡大版

①ワンストップサービス

過日、防犯の事で担当者と思われる部署に問い合わせたところ、即答が得られず、再度問い合わせました。そこで別の部署が対応する事になったとのことがありました。
市の基本計画や条例制定の際、市民の提案や疑問・意見に対し市として応答することになっているPC(パブリックコメント)制度では、テーマに即した部署が担当しています。
しかし日常的な問題については、市民として何処に問い合わせていいのかわからないのが実態で結局「たらいまわし」状態ではないでしょうか。市民からの問い合わせに対して関連部署が一同に会し、問題点を出し合い、何処が担当するのがいいのか決定する手順も検討してほしいものです。
市民をあちらこちらと振り回さないよう「ワンストップ」の徹底を望みます。　（T.Mさん）

②学校給食、牛乳瓶から紙パックへ ー環境問題か栄養問題か!?ー

戦後の栄養不足から始まった学校給食。その給食に欠かせない(?)牛乳を市では年間百数十日、約７千人が飲んでいます。今年からこれまでのビンから紙パックに切り替えられます。そこで気になる「ゴミ」ですが、業者が責任もってリサイクルできるようにするとの事。また、今までのビン牛乳は180㎖でしたが、紙パックは学校給食法に定められている200㎖になり、不足分が解消できるとの事です。今の時代は飽食、しかし偏食による栄養不足。そこで食事では補えない栄養バランス補給のために牛乳は最適との事。ゴミの問題もあるけど、この20㎖の重要性の問題。なんとも不思議な話。　（M.Jさん）

皆川りうこの活動報告

10月 24日(土) 国分寺市民文化祭　いずみホール
27日(水) 府中刑務所見学　被害者支援を創る会
30日(土)「痴呆の話」　講演会
11月　1日(月) 文教委員会
6日(土) 自治体政策学会セミナー
7日(日) 国分寺まつり
9日(火) まちづくり構想策定会議傍聴
11日(木) 代表者会議
14日(日) 全国障害者スポーツ大会　熊谷市
17日(水)「指定管理者制度は、地方に何をもたらすか」学習会
18日(木) 情報法務と情報管理講演会/３・３・８号線　事前アセス説明会
20日(土) *Let's* の会
24日(水) 多摩環境事務所　環境改善課情報公開請求手続き／建設委員会傍聴
25日(木) 代表者会議
26日(金) 青少年問題協議会　5中にて授業参観他
12月 1日(水)～22日(水)まで 12月議会
4日(土)「障害者基本法改正について」講演会
11日(土) 中野区教育委員人材推薦意見発表会傍聴
12日(日) マニフェスト評価フォーラム
20日(月) 国分寺駅周辺パトロール
2005年1月7日(金) 出初式
10日(月) 成人式

お詫びと訂正

2004年秋号でお伝えしました職員の年令ごとのグラフでは、事務技術職員と技能労務職員の表示が逆でした。それぞれの年令ごとの総数は同じです。お詫びして訂正いたします。
尚、平成16年3月31日現在の職員数は846人（事務技能職684人、技能労務職162人）、平均年令43歳6月となっています。

皆川りうこの会 "Let's" 伝言板

国分寺市の"まちづくり"ご一緒に考えませんか。

ぜひ、身近な問題やお気づきの点などお気軽にご連絡下さい。
なお留守番電話の際は、名前、連絡先、メッセージをお願いします。必ずこちらからご連絡差し上げます。

連絡先
TEL/FAX **042(324)4442**
TEL **042(324)7181**
E-mail : **riuko@din.or.jp**

昨年一年を言い表す「災」。年末になって地球規模での災害、津波、多くの犠牲者。今年一年ははたして「福」となるのか…

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています